



# くりしま

《本園の教育目標》

- 仲良くできる子ども
- 元気な子ども
- 心の豊かな子ども
- 努力する子ども
- 体を鍛える子ども

《栗島幼稚園ホームページ》

栗島幼稚園

検索

## 『子どもの幸せ感向上 ～冷やかしや悪口を絶つ～』

園長 矢田 泰久

秋の成長の証し、運動発表会も立派に終え、11月7日には立冬を迎えます。暦の上では、いよいよ冬の始まりです。夕暮れも“つるべ（釣瓶）落とし”と言われるようにあっという間に早くなりました。赤や黄色に染まった木々の美しさも色褪せて、気付けばこれから冷たい木枯らしが吹き始めます。制服が一層似合う冬を迎えますが、新型コロナウイルスの感染が終息し、インフルエンザも流行しませんようにと祈ります。手洗いや消毒、3密の回避を引き続き励行してまいります。安全対策（保護者証等）とともにご協力をお願いいたします。

過ぎた10月は行事の実施にぴったりの時節でした。年長組の園児たちは、今年初めての園外保育を行い、毎日いただいている給食の調理施設（四季亭見学）を見学しました。大きな施設や大きな調理器具（しゃもじ）、動く調理台や強カスチームの白い煙などを興味津々眺めました。お土産の鉛筆にも大喜びでした。



＜年長組 四季亭講堂に集合＞



＜大きなしゃもじ＞



＜強カスチーム＞



＜年長組 交通安全教室＞



＜自動炊飯機＞



また、年中・年長組は綾瀬警察署のご協力により交通安全教室を行いました。信号機の色を判断して横断歩道を渡る演習を行いました。交通ルールを守って事故に遭いませぬように。

そして、秋空の下、学年毎に運動発表会を行いました。1種目ないし2種目の演技ですが、園児たちは日々練習を重ね、がんばりました。運動する楽しさ、表現する素晴らしさを味わい、また一つ成長しました。私も10月は今年一番ジョギングの回数が増えました。園児には平均余命である70年80年先も運動する楽しさ大切さが味わえますようこの時期にその基盤を築いて欲しいと願っています。

## 【 運動発表会(10/26~30)の様子 】



<年中組 遊戯「フンフンパラダイス」>



<年少組 遊戯「ダンシング・サファリ」>



<年長組 「ソーランキッズ Kids」>



さて、国連児童基金(ユニセフ)の研究所では、経済協力開発機構国(OECD)または欧州連合(EU)に加盟する38カ国に住む子どもたちの幸福度を調査し、「精神的な幸福度」「身体的健康」「学力社会的スキル」の3分野で指標化したランキングを発表しました。(2020年9月3日)

これによりますと、日本の子どもは生活満足度の低さ、自殺率の高さから「精神的な幸福度」が37位と最低レベルでした。「身体的健康」では1位で経済的にも他国と比べ比較的恵まれていました。学力も読解と数学力は5位でしたが、社会的スキル「すぐに友達ができる」の15歳の割合は最下位クラスでした。明らかになったことは、学校のいじめや家庭内の不和などを理由に、子どもは幸福を感じていない実態です。

その対策を一言でいえば、子どもの自己肯定感を高めることです。今、小学校から高校までこのことは一番の課題であり日夜取り組んでいます。しかし、自己肯定感はなかなか上がりません。要因に自分を自らの葛藤や攻撃から守ろう(防衛)しようとする事で、安易に冷やかしたり悪口を言ったりすると言われます。自分を肯定し、有用であることを子どもに根付かせることに尽きます。大人は子どものよさを見つけ、適切に評価して、いつも励ましてあげることが肝心です。私も心掛け、実践しているところです。共にやってみましょう。

**【お知らせ】** 休止していた正課「体操」を11月から再開します。月曜日(年中・年少組)は(財)コーチングバリュー協会から東根明人先生と大羽瑠美子先生が、金曜日(年長組)には(株)カイ体育教室から野澤明日香先生がそれぞれ担当してまいります。